

エントリー学校名： 宮崎県 小林市立須木小学校

活動名： 「つなぐ」プロジェクト ～夢のある須木での学びを開発する～

**解決すべき課題：**

- 人口減少に伴う衰退化という地域の課題と、児童数減少による活力減少という学校の課題をつなぎ、ともに手を取り合い新しい学校作りを目指すことを目的として、地域と学校が共に活力を取り戻すためのプログラムを設定することで、両者の課題の改善を図るとともに、児童は学ぶ目的に気付き、学ぶことに意欲をもち学力向上をめざせるようにする。（表1）

**目標・方針：**

- 児童：キャリア教育の考えを活用し、地域素材や人材を活用した学習を積極的に行うことで、自分の学びの目的に気付き、意欲をもって学ぶことができるようにする。（表2）
- 職員：校区を活用した研修を行うことで、児童の学習に地域の活力が重要であることに気付き、教材としての導入を積極的に行えるようにする。
- 地域・保護者：今後の学校の在り方が、地域の活性化にも大きくかわることに気付き、今後の学校の在り方を学校と共に考える素地を作る。

**活動内容：**

- 授業：自分の夢の揭示。（写真1）総合的な学習の時間での系統的な地域学習の導入。（表3）学校行事やクラブ活動での、地域素材を活用した取組の実施。（写真2、3）近隣小規模校5校合同での近未来発見スクールの開催。（写真4）
- 研修：地元企業での中堅教員研修の実施。職員研修での地域発見ツアーの実施。（写真5）
- 地域：学校行事への参加・協力。地域協議会における、10年後の学校作りのための検討の場を作る。（写真6）

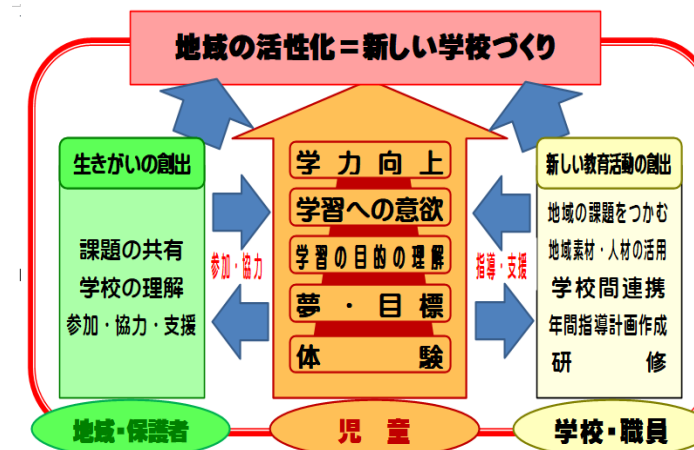
**活動の成果：**

- 学力向上に対する考え方の整理ができ、目標をもって学ぶ意欲の向上を図ることができた。（表4）
- 総合的な学習の時間の改定を行い、地域交流の場を系統的に実施できるようにした。
- 地域の組織「まちづくり協議会」のなかに、「未来作り部会」を設置し、地域の関係者「区長」「商工会」「福祉協議会」「行政関係者」と学校関係者「職員」「PTA」が一堂に会し、今後の学校作りと、地域活性化を合わせて定期的に検討する機関の開設ができた。

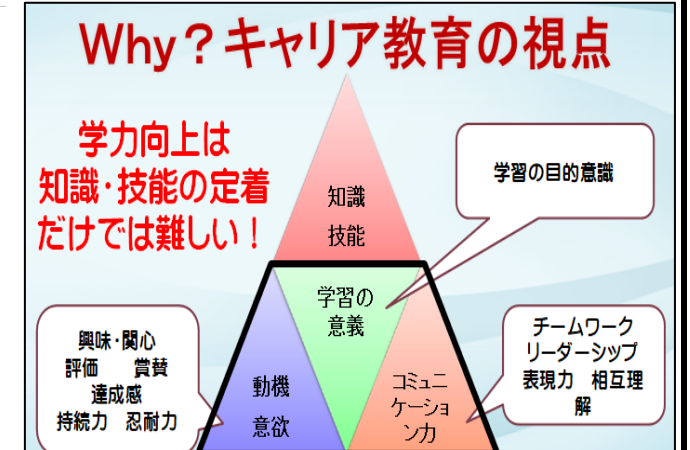
**アピールポイント（アイデアや工夫）：**

- キャリア教育の視点を基に、夢や目標をもつことに取り組むことで、児童に学習に対する意欲を高めることができた。
- 学習に関係する様々な施設や活動等を、点でなく、面としてとらえ、つなぐことを意識することで、それぞれがもつ価値を再確認し、有効活用することができた。
- ICTの活用や学校間連携など、新たな取組を導入することで、新しい学校作りに対する意識を、教職員ばかりでなく、保護者、地域、児童に高めてもらう場作りをすることができた。

【表1 全体構想図】



【表2 キャリア教育の視点から見た児童の課題】



【表3 総合的な学習の時間 学年系統表】

学年	時間	テーマ	内容
学校のテーマ 【 知って残そう、創って伝えよう 須木の素晴らしさ 】 ～今だからこそ考え、伝えよう、須木の未来を～			
3年	31時間	【 発見 須木の「もの」さがし! 】	1 オリエンテーション 2 見つけよう須木のすごい「もの」 3 作ろう、すきのすごいもの
4年	31時間	【 発見 須木の「こと」さがし! 】	1 オリエンテーション 2 見つけよう 須木のすごい「こと」 3 作ろう、すきのすごいこと
5年	31時間	【 発見 須木の「ひと」さがし! 】	1 見つけよう すき須木の人 2 考えよう 須木の暮らし 3 未来の自分さがし
6年	31時間	【考えよう 須木の未来を】	1 比べよう、いろいろなまちづくり (修学旅行) 2 須木の未来作り討論会

【表4 アンケート調査結果】

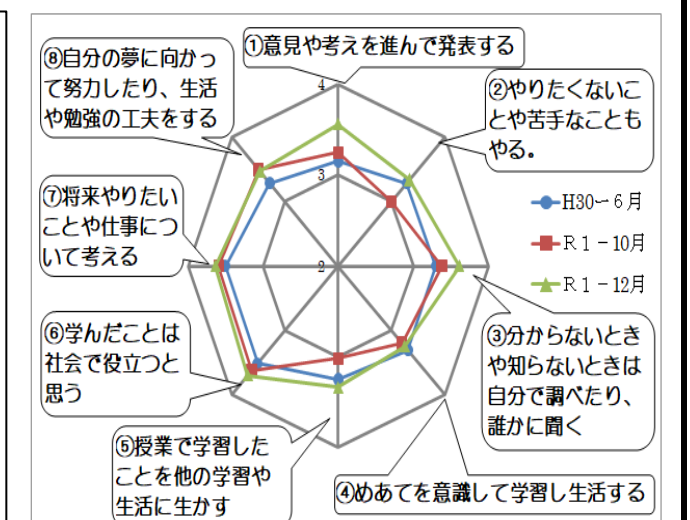


写真1 【ぼくの夢・私の夢】



写真2 【クラブ活動 SUP体験】



写真3 【須木PR活動】



写真4 【近未来発見スクール】



写真5 【職員研修 地域発見ツアー】



写真6 【むら作り協議会 会議】